

## 本市の実態

○本市教職員の状況（平成28年度実績）

教職員の勤務時間外滞在時間状況（年間） 全体平均 484時間36分  
 （校種別）・幼稚園 390時間6分 ・小学校 478時間59分 ・中学校 530時間37分  
 ・高等学校 334時間14分 ・支援学校 298時間15分

## 目標

- ① 年平均勤務時間外滞在時間 20%削減（H28年度比）  
【平成31年度目標値】
- ② 年間勤務時間外滞在時間 720時間超 ゼロ  
【平成34年度目標値】

**⇒ワーク・ライフ・バランスの実現**

## 取組内容

学校園の業務改善等と教育委員会の支援の2つの視点から新たな取組を実施し、保護者の協力のもと本市教職員の長時間勤務の改善と、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現をめざす。

### 学校園の業務改善

学校閉庁日の実施	長期休業中に教職員が出勤しない日を平日5日間程度設定し、教職員の年休等の取得を促進します。 ※幼稚園（認定こども園百舌鳥幼稚園は除く）及び高等学校は、学校閉庁日の趣旨を踏まえた取組を実施します。 中学校は、各校の部活動指導の状況を踏まえ、平日3日間とすることも可能とします。
定時退勤日の設定	毎週水曜日に、速やかな退勤を促す「定時退勤日」を設定し、教職員の休養を確保します。
ノークラブデーの推進	スポーツ庁のガイドラインを踏まえ、学校または部活動ごとにノークラブデーを設定することなどを通じて、生徒と教員の休養を確保します。
業務改善ハンドブックの作成	現行の事例集を改訂し、各学校園の業務改善や業務の効率化を支援します。
ワーク・ライフ・バランス研修の実施	ワーク・ライフ・バランスに関する研修の実施により、教職員の意識改革を図ります。

### 教育委員会の支援

部活動指導員の配置	中学校における部活動指導の負担軽減を図るため、教員に替わって部活動指導を行う部活動指導員の配置に取り組みます。
ICT化の推進	タブレット端末を校務支援や指導ツールに活用することを推進し、授業改善や授業準備等にかかる事務の負担を軽減します。
小学校外国語指導教員の配置	新学習指導要領における小学校外国語教育の実施に向け、専科指導教員の配置に取り組みます。
文書事務削減の徹底	教育委員会事務局の調査文書を徹底的に見直し、平成30年度において20%以上（H28年度比）の削減に取り組みます。

### 保護者の理解と協力

保護者向け協力文書等の発信	教育委員会より、保護者にむけて教職員の勤務時間や学校閉庁日等の取組について周知し、協力文書等を発信します。
---------------	---

**教職員の笑顔があふれる堺の教育を具現化 ⇒ 堺の教育の充実**